

# JIS

UDC 614.821 : 622.861.2-78

M 7624

## 安 全 帯

③ JIS M 7624<sup>-1994</sup>

平成 6 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

---

主 務 大 臣：通商産業大臣      制定：昭和 39. 9. 1      改正：平成 6. 7. . .

官 報 公 示：平成 6. 7. 12

原案作成協力者：社団法人 日本保安用品協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会（部会長 福原 元一

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



## Safety belts

1. 適用範囲 この規格は、建設、土木、鉱山、採石場などの高所又は急斜面における作業で、作業者の墜落を防止するために使用する胴締め形安全帯(U字つりのものを除く、以下、安全帯という。)について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

JIS H 4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線

JIS L 2703 ビニロンロープ

JIS L 2704 ナイロンロープ

2. この規格の中に{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考値である。

2. 種類 安全帯の種類は、補助ベルトの有無、ロープの先端に取り付けたフック若しくはカラビナ又はグリップによって表1のとおり4種類とする。

また、性能を向上させるためのショックアブソーバ付きのものは種類の最後にSを付けて表示する(例：1A種のショックアブソーバ付きは1A種Sとする。)

表1 種類

種類	補助ベルトの有無	フック若しくはカラビナ又はグリップ
1A種	有	フック又はカラビナ
1B種	有	グリップ
2A種	無	フック又はカラビナ
2B種	無	グリップ

3. 各部の名称 安全帯各部の名称は、図1～3及び表2による。